

## 第7回 ボールの素材の違いとは

会員様向けに書かせてもらっているこの記事、実はホームページにも載っており、千葉県の方から楽しみにしているとメールが届きました。嬉しくなってしまうですね、ありがとうございます。みなさん、質問も募集していますのでよろしくお願ひします。

最近、動画サイトで「ボウリング」を調べてみると、その中に「素材の違うボールを投げしてみた」といったものがありました。

カタログを見てみると、ボールについてスペックが記載されているのですが、ここでいう素材とは「カバーストック」という欄の事です。カバーストックとは、ボールの一番外側、レーンに実際に触れている部分の素材です。

ここを見ることで、そのボールが曲がるのか曲がりにくいのかをおおまかに読み取ることが出来るわけです。

そこで今回は、大きく分けて素材を見ていきます。

そして、これを読んでいる皆さんが自身で一番合いそうな素材はどれなのかを考えてみてください。

### 1. ソリッドカバー (Solid)

・ソリッド素材は、オイルに対して強い傾向があります。

・手前からレーンを噛み、大きく且アーク状に曲がる物が多いです。  
・バックエンドのキレ感には少なく感じる事が多いですが、それは手前から曲がって見えた目上曲がりや少なく見えるからであり、その分コントロール性が上がり安定したコースを狙える事が多いです。  
・スピードが遅いボウラーに向いている性能です。

・曇った状態で工場出荷される事が多いですが、ポリッシュ加工がされている場合、後述のパール素材より曲がりが大きくなる特徴がありますので、大きく曲げたい人向けの素材です。

### 2. パールカバー (Pearl)

・パール素材は、手前の走り、スキッド性能に優れています。

・手前から曲がらずに滑っていき、バックエンドで溜まったパワーが一気に放出されるので、キレ感が大変大きく出ます。  
・いわゆる曇れ玉に多い素材なので、コントロールは練習しないと大変になるかも知れませんが。

・スピードの遅いボウラーは、パール素材の方が簡単にポケットヒットさせやすいでしょう。

・オイルの無いレーンや、ゲーム後半で重要する性能です。

### 3. ハイブリッドカバー (Hybrid)

・ソリッドとパールの混合体で、ちょうど中間の性能です。

・ソリッド素材ほどレーンを噛まず、パール素材ほどスキッドもしない、しかし程よく走って程よくキレルコントロール性能があります。  
・必ずしも1・1で配合されているわけではないので、どっちかの性能に偏ることもあります。(メーカーは公表しないのがほとんどです)

・曇らせても光らせても使える性能ですので、ご自分のアレンジ次第で使いやすいさを合わせやすいです。

このほかにも、ウレタンやポリエステルがありますが、これらはまた違った分類になりますので、いつか機会があれば。

3つの素材について簡潔に書きましたが、これを機に一度ボールの性能をお調べになっていただき、自分で選んでみるのもいいのではないのでしょうか？

自分で選んだ物ほど、愛着が湧くというものですよ。